

JA 営農情報

№356 令和7年 5月号

水稻育苗作業

市内平坦地では、これからお米の育苗作業が最盛期を迎えます。水稻栽培では、『苗半作』と言われるほど重要な工程になりますので、忙しくなる前に準備しておきましょう。

■種子消毒

消毒は、一般的に右の2剤を混用して行います。

- ① テクリードCフロアブル … いもち病、ばか苗病、等
- ② スミチオン乳剤 … イネシנגアレセンチュウ

上記の薬剤はそれぞれ防除の目的が異なるため、必ず2剤を使って消毒してください。



■浸種・催芽

消毒後の種もみを水に浸けて発芽を促進する工程です。育苗作業において失敗しやすい工程の一つですので注意しましょう。

浸種期間の目安

$$\text{必要日数} = \frac{120^{\ast}}{\text{(積算温度)}} \div \text{平均水温 (}^{\circ}\text{C)} \quad \text{(作業時期や気候により浸種期間が10日以上かかる場合があります。)}$$

※標準の積算温度は100ですが、昨年は栽培中の気温が高かったことから発芽まで時間がかかることが予想されるため、120を基準に計算し、定期的に発芽状況を確認してください。

水は汚れたり濁ったりしたら交換します。(毎日行う必要はありません。) また、種もみは1日に1～2回水から出して酸素を補給させましょう。

■播種

予め床土を入れる場合は、土が乾かないようになるべく種まきの直前に行い、種をまく前に水をたっぷりかけましょう。

播種量は乾燥粃で150g、催芽粃で180～200gを目安に、極度の厚まきはムレ苗や細い苗の原因となるため避けてください。

播種後は種が隠れる程度に覆土し、発芽するまでは水やりをしないでください。

栽培管理べんり帳もあわせてご確認ください。

農機具の盗難に注意！



毎年、全国各地でトラクターや草刈り機などの農機具の盗難被害が発生しています。大切な農機具が盗まれないよう対策を徹底しましょう。

①施錠できる倉庫で保管する

圃場に置いたままにしていると盗難被害に遭いやすいです。そのため、使用後は倉庫へ格納し、扉は必ず施錠してください。倉庫の出入り口や農機具の前に障害物を置いておくのも有効です。また、倉庫へ格納した後は、車両から鍵を抜いて保管してください。

②防犯グッズを活用する

車両をハンドルロックやタイヤロックで施錠したり、倉庫前にセンサーライトと防犯カメラを設置したりすることで、より盗難に遭いにくくなるのが期待できるため、積極的に活用しましょう。



☆みしま館 出荷会員募集のご案内☆

当ＪＡが運営する農産物直売所『みしま館』の出荷会員を募集しています。直売所への持込が困難な方については、営農経済センターへ持込いただくかご自宅へ集荷にお伺いすることも可能です。

少量でも構いませんので自分で育てた農産物を出荷してみませんか？

詳細についてはみしま館までお問い合わせください。 *TEL：645-7100

《各種相談日のお知らせ》

	法律相談 隔月第2木曜日	税務相談 隔月第4金曜日	住宅ローン・資産相談 毎月第3土曜日	介護相談 随時受付
5月	8日	—	17日	介護に関する 無料相談受付 まずはお気軽 にお問い合わせ下 さい。 <u>介護支援センター</u> <u>TEL：627-7767</u>
6月	—	27日	21日	
7月	10日	—	19日	
【実施場所】 農協会館（JA茨木市 本店）3階 小会議室 【受付時間】 午後1時～午後4時 定員は3名ですので、事前にお問合せください。 （無料でご相談いただけます） ふれあい・福祉課 TEL：627-7768			【実施場所】 JA茨木市 各支店	



ご利用ください

【テレホンサービス】青果物の市況をお知らせします。 TEL:641-9150

【営農１１０番】栽培方法等ご相談ください。 TEL:641-9050